

学校臨床心理専攻

●専攻の教育理念と教育目的

本専攻には、学校臨床学コース、臨床心理学コースの2つのコースがあります。それぞれ学士課程で培った資質能力を基礎とし、学校臨床及び臨床心理にかかる高度な実践力のある指導者・職業人の育成を目的としています。

そのため、学生は、学校臨床及び臨床心理に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ、高度な専門的知識を習得し、それをもとに学校臨床及び臨床心理をめぐる現代的諸課題への対応方策を適切に考える高い技能と豊かな表現力をもって教育・臨床活動に取り組む力を培います。

●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時必ず身につける能力)

<知識・理解>

1. 学校臨床や臨床心理に関して高度な専門的知識を習得している。

<技能>

2. 学校臨床、臨床心理にかかわる高い技能を身につけている。

<思考・判断・表現>

3. 教育や心理的支援をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方策を適切に考え、高度な実践力をもって教育・支援活動に取り組むことができる。

<関心・意欲・態度>

4. 学校に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な教育・支援実践力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自主的に社会に貢献しようとする。

●専攻のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

学校臨床心理専攻には、学校臨床学コース、臨床心理学コースの2つのコースがあります。

学校臨床学コースは、学校等における教育の臨床的な諸問題に対し、教育における人間性育成の観点から、教育や心理発達に関する高度な知識を身につけ、現実の諸課題に対する課題解決能力を養うことを目的としています。学部卒業者で教育についての知見を深め同時に教師としての実践力の向上を図ろうとする人、現職教員を含む社会人で教育や心理発達について学び直しを行おうとする人を求めています。

臨床心理学コースは、家庭、学校、職場など様々な領域で増大しているコミュニティ・人間関係・個人の諸問題について、臨床心理学の立場から、その要因やメカニズムを理論的に明らかにし、

支援実践力を培うことを目的としています。援助を必要とする人々の心の世界とそれを取り巻く社会的状況に関与し、将来、「こころ」の専門家である臨床心理士になることを目指して学ぼうとする人を求めています。

●専攻のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムの概要

学校臨床学コースでは、教育における人間性育成を共通のねらいとして、教育や心理発達に関する高度な専門的知識とともに、教育実践支援や教育実践研究のための具体的な手法を学ぶことができる科目が用意されています。

臨床心理学コースでは、臨床事例を取り上げつつ、力動的心理療法、精神保健、ブリーフセラピー、心理アセスメント等に関する科目を履修します。

両コースともに、用意された科目で学び、実践的活動や研究的活動を通して発展させた内容を「課題研究」を通して修士論文に結実させます。